

## 第7部 スポーツ

### 第1章 平成25年度スポーツ推進の方針と重点

#### - 方針 -

「スポーツ立県戦略」に基づくスポーツの推進

#### - 重点 -

1. 生涯スポーツの推進
  - ・総合型地域スポーツクラブの育成・支援とぎふ広域スポーツセンターの機能充実
  - ・トップアスリート拠点クラブの認定とその活動支援
  - ・県民総参加型のスポーツ大会の実施・充実
2. 競技スポーツの推進
  - ・高い競技力水準の維持向上（国体8位以内）
  - ・トップアスリートの強化、ジュニアアスリートの育成
  - ・指導者の養成及び資質の向上
3. 学校における体育・スポーツ
  - ・体育授業の充実と運動遊びの奨励
  - ・学校運動部活動の活性化・強化
  - ・体力づくりの推進
  - ・トップアスリート、優秀指導者等の学校での活用
4. スポーツ推進体制（環境）の整備
  - ・施設の整備及び運営の充実
  - ・スポーツ関係団体等の充実及び連携強化
  - ・国際的・全国的スポーツイベントの誘致・開催支援

### 第2章 スポーツの推進

スポーツは心身の健全な発達と健康・体力の保持増進に欠かせないものであるとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与する人数共通の文化として捉えられている。その中で本県は、生涯スポーツ社会を実現し、日本一、世界一を目指す選手を育成する。

また、全ての県民がさらにスポーツの魅力や楽しさを実感できるよう、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」開催によって培われた財産を学校や地域スポーツの場で活用する。

## 第1節 生涯スポーツ

### 1 現況

近年における、社会環境・生活環境の変化にともない、県民一人ひとりが各自のライフステージに応じたスポーツ活動を行うことにより、欲求を充足し、心身ともに健康で豊かな生活を築きたいとの願いが強まっている。それは、県民のスポーツニーズの多様化、高度化を示している。

今後、社会情勢を踏まえ、生涯の各時期に体力や年齢、目的に応じて、いつでもどこでも親しむことのできるスポーツの推進を図ることは、本県にとって極めて重要であり、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の財産を活用して、県民すべてがスポーツを通じて健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指すものである。

### 2 平成24年度の事業実績

- (1) 県立学校体育施設開放 26校 開放日数1,433日 利用人数 50,613人
- (2) スポーツ推進委員研修会（体育指導委員研修会）  
地区別（6地区） 前期6月～7月中の1日 参加者650人  
（6地区） 後期10月～11月中の1日 参加者550人  
東海四県スポーツ推進委員研究大会、伊勢市「サンアリーナ」他  
2月8・9日 参加者575人

### 3 平成25年度の施策

- (1) 総合型地域スポーツクラブの支援  
ア クラブの創設・自立に向けた支援  
イ ぎふ広域スポーツセンターへのクラブ支援専門指導員の配置  
ウ アシスタントクラブマネージャー養成講習会の実施
- (2) トップアスリート拠点クラブの活動支援  
ア トップアスリートと地域スポーツや学校体育等が交流できる機会の創出
- (3) 県民の健康づくりへ支援  
ア レクリエーションスポーツを活用した健康づくり支援
- (4) 県民総参加型スポーツ大会及びスポーツイベントへの支援  
ア ぎふスポーツフェア（4月14日～5月21日）  
イ 第3回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン（5月19日）  
ウ 第6回岐阜県民スポーツ大会（9月15日）  
エ 第5回ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会（10月20日）等

### 4 平成25年度の主な事業計画

- |                      |     |    |      |
|----------------------|-----|----|------|
| ・市町村指導               | 年間  |    |      |
| ・市町村生涯スポーツ担当者研修会     | 各地区 | 2回 | 計12回 |
| ・各教育事務所スポーツ担当者研修会    | 年2回 |    |      |
| ・総合型地域スポーツクラブ育成支援    | 年間  |    |      |
| ・スポーツ推進委員研修会         | 各地区 | 2回 | 計12回 |
| ・県立学校体育施設開放          | 26校 |    |      |
| ・岐阜県スポーツ推進審議会        | 年1回 |    |      |
| ・第54回全国スポーツ推進委員研究協議会 |     |    |      |

## 第2節 競技スポーツ

### 1 現 況

競技スポーツは、たゆまぬ努力と日々の研鑽によって人間の体力の限界に挑む活動であり、その優れた成果は県民に大きな感動や喜びを与えるとともに、活力と希望をもたらし、さらにはスポーツ推進の先導的な役割を果たしてくれる。

本県では、平成13年度より競技力向上施策を推進し、各種競技団体との連携のもとに、多様な強化事業や指導者養成事業、科学的トレーニング指導等の競技力向上施策を実施している。その結果、国際的・全国的大会において優秀な成績を収める選手が増えてきている。

また、昨年開催した「ぎふ清流国体」で天皇杯、皇后杯を獲得した競技力水準の維持向上に努めていく。

### 2 平成24年度の事業実績

#### 第67回国民体育大会の成績

天皇杯（男女総合）						皇后杯（女子総合）					
冬季大会		本大会		総合成績		冬季大会		本大会		総合成績	
得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位
221.0	3位	2807.5	1位	3028.5	1位	112.0	3位	1348.0	1位	1460.0	1位

参加点を含む

#### 競技別天皇杯・皇后杯獲得競技

競技別天皇杯（男女総合）	競技別皇后杯（女子総合）
ホッケー、カヌー、剣道、卓球、馬術、バスケットボール、サッカー、レスリング、自転車、空手道、フェンシング、陸上、ハンドボール	ホッケー、カヌー、剣道、卓球、ゴルフ、アーチェリー、セーリング、空手道、フェンシング

各国体における入賞数の比較（冬季を含む）

#### 別登録

各国体における優勝数の比較（冬季を含む）

#### 別登録

天皇杯・皇后杯順位及び得点

	開催県	天皇杯（男女総合）		皇后杯（女子総合）	
		順位	得点	順位	得点
H24 第67回	岐阜県	1 位	3028.5	1 位	1460.0
H23 第66回	山口県	4 位	1669.0	3 位	958.5
H22 第65回	千葉県	1 1 位	1302.5	1 2 位	661.5
H21 第64回	新潟県	1 6 位	1194.5	8 位	738.0
H20 第63回	大分県	1 7 位	1144.0	1 1 位	672.0
H19 第62回	秋田県	2 0 位	1071.5	9 位	644.5
H18 第61回	兵庫県	1 8 位	1098.0	1 5 位	607.5
H17 第60回	岡山県	2 2 位	1006.0	1 2 位	629.0
H16 第59回	埼玉県	1 8 位	1042.0	1 8 位	574.5
H15 第58回	静岡県	2 0 位	1060.0	1 2 位	651.5
H14 第57回	高知県	2 8 位	869.5	1 6 位	575.5
H13 第56回	宮城県	2 7 位	851.0	1 9 位	535.5
H12 第55回	富山県	2 3 位	899.0	1 4 位	602.0

平成24年度全国高等学校総合体育大会入賞(1～8位)成績(7月28日～8月20日・新潟県他)

## 別登録

全国高校総体・年度別入賞数（12～24年度）

別登録

平成12年度は、岐阜県で開催されたため、種目によっては例年より多くのチームや個人が参加できた。

種目別全国大会入賞（1～8位）成績

平成24年度 第14回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

（7月21日～22日・三重県 西野公園体育館）

成績	種目名	氏名・学校名
5位	48kg級 総合 スッチ 6位 ジャーク 5位	加藤 美月（土岐商・2年）
5位	58kg級総合 スッチ 6位 ジャーク 6位	加藤 亜美（土岐商・2年）

平成24年度 第50回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

（7月28日～31日・広島県つづがライフル射撃場）

成績	種目名	氏名・学校名
2位	チームライフル男子団体	郡上北
6位	エアライフル 男子団体	関有知
優勝	チームライフル男子個人	山内 直弥（郡上北・2年）
4位	” 女子個人	本田 光希（済美・3年）
6位	” 女子個人	時田 亜也加（鷺谷・3年）
6位	エアライフル 女子個人	松巾 亜由（済美・3年）

第24回全国高校生銃剣道大会

（7月28日・宮城県岩沼市立岩沼中学校）

成績	種目名	氏名・学校名
2位	男子団体	岐阜選抜B （河合将吾、松久昂起、堀部亮太）
2位	個人（2年生の部）	河合 将吾（各務原西・2年）

平成24年度スポーツクライミング競技 第15回JOCジュニアオリンピック大会

（8月11日～13日・富山県南砺市 桜ヶ池クライミングセンター）

成績	種目名	氏名・学校名
5位	リード男子ジュニア総合	邨瀬 将之（岐阜総合学園・3年）

第36回全日本ジュニア障害馬術大会2012

（7月29日・山梨県馬術競技場）

成績	種目名	氏名・学校名
3位	中障害チルドレンライダー	吉田 まなみ（県立岐阜商・1年）

第57回全国高等学校軟式野球選手権大会  
 ( 8月25日～29日・兵庫県 明石トーカロ球場(明石公園第1野球場)、高砂市野球場)

成 績	学 校 名
優 勝	中 京

平成24年度全国高等学校定時制通信制体育大会入賞(1～8位)成績  
 ( 8月1日～8月23日:東京都、神奈川県、静岡県)

成績	競 技 名	団体種目	所 属	競技名	個人種目・氏名(学年)	所 属
2位				陸上競技	走幅跳 立澤貴士(定3年)	華陽F
3位	バドミントン バドミントン	男子団体 女子団体	岐阜選抜 岐阜選抜			
5位	バレーボール バレーボール	男 子 女 子	城 南 華陽F	柔 道	女子重量級 中井麻伊(定3年)	大垣商

平成24年度 全国中学校体育大会 入賞成績(夏季大会)

【団体種目】

No	成績	出場種目	学校名等	備考
1	4位	陸上都道府県別対抗男女総合	岐阜県	
2	5位	サッカー	帝京大学可児中学校	
3	5位	ソフトテニス男子団体	多治見市立多治見中学校	
4	5位	卓球女子団体	岐阜市立長森中学校	
5	6位	陸上女子4×100mR	大垣市立東中学校	

【個人種目】

No	成績	出場種目	氏名	学年	学校名	備考
1	優勝	陸上男子4種競技	西尾 拓巳	3	中津川市立坂本中学校	
2	2位	陸上女子100m	新木 詩乃	3	山県市立高富中学校	
3	2位	陸上女子200m	新木 詩乃	3	山県市立高富中学校	
4	2位	陸上女子走り高跳び	長谷川 礼奈	3	瑞穂市立穂積中学校	
5	3位	陸上女子200m	柴山 沙也香	3	多治見市立笠原中学校	
6	3位	陸上女子走り高跳び	河田 彩音	3	各務原市立稲羽中学校	
7	5位	陸上男子100m	井口 大輔	3	岐阜市立岐阜清流中学校	
8	5位	水泳女子800m自由形	水谷 華奈	3	笠松町立笠松中学校	
9	5位	柔道男子66kg級	荒井 大成	3	岐阜市立岐阜西中学校	
10	5位	柔道女子48kg級	宮地 菜々	3	岐阜市立岐阜西中学校	
11	6位	陸上男子走り幅跳び	羽實 壮里	3	池田町立池田中学校	
12	8位	新体操女子個人リボン	小林 秀圭	1	各務原市立川島中学校	

【過去10年間の入賞の推移】

順位	H15		H16		H17		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	
1位						2			1	4		2									1
2位						2		3		4	1	4	2	1	1				1		3
3位		2	1	1	1	1		4	1	2	1	1	2	3	2	2			2		2
入賞	2	8	2	6	3	5	2	4	2	3	2	5	2	9	3	11	2	11	5	6	6
計	1	2	1	0	1	4	1	3	1	7	1	6	1	9	1	9	1	6	1	7	7
平均	1.3										1.7										

【過去5年間の出場チーム数及び出場選手数の推移】

	H20	H21	H22	H23	H24	5年間の平均
出場チーム数(団体)	10	20	10	13	17	14.0
出場選手人数(団体・個人)	158	285	153	216	242	210.8

\* 全国大会出場条件 標準記録(陸上、水泳) 県大会優勝(柔道、剣道、相撲)  
東海予選(上記以外の種目)

<参考> (公財)日本中学校体育連盟後援の種目 全国大会入賞成績

[団体種目]

No	成績	出場種目	学校名	備考
1	優勝	ホッケー(女子)	各務原市立稲羽中学校	第42回 全日本中学生ホッケー選手権大会(日本中体連後援)

[個人種目]

No	成績	出場種目	氏名	年	学校名	備考
1	2位	テニス 女子シングルス	佐野 結花	3	岐阜市立 三輪中学校	第39回全国中学生テニス選手権大会(日本中体連後援)

### 3 平成25年度の施策

- (1) トップアスリート等への競技力向上支援
  - ア 国民体育大会選手の強化支援
  - イ 強化指定部等への支援
  - ウ 競技団体への支援
  - エ ジュニア選手の育成強化支援
- (2) トップアスリート拠点クラブの活動支援
- (3) 優秀選手の活用
  - ア 優秀選手を配置し、指導者として活用するための支援
- (4) コーチの育成強化
  - ア 指導者の資質向上に向けた研修会の実施及びライセンス取得に向けた支援



(5) 日本一づくり特別強化

ア 高校野球、都道府県駅伝の強化支援

イ 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを有効活用しての強化 等

## 4 平成25年度の主な事業計画

(1) 主な事業

ア 国体強化対策事業

カ 国体特殊器具整備事業

イ 強化指定交付金事業

キ コーチ育成強化事業

ウ ジュニアグロウアップ作戦事業

ク 高地トレーニング実践強化事業

エ 日本一づくり特別強化事業

ケ 優秀選手活用事業

オ トップアスリート強化支援事業

コ トップアスリート拠点クラブ活動費補助金事業

(2) 主な大会日程

- |                              |               |               |
|------------------------------|---------------|---------------|
| ・県高等学校総合体育大会                 | 5月5日～6月30日    | 岐阜メモリアルセンター 他 |
| ・東海高等学校総合体育大会                | 6月15日～16日他    | 三重県           |
| ・全国高等学校総合体育大会                | 7月28日～8月20日   | 大分県 他         |
| ・県中学校総合体育大会                  | 7月25日～8月2日    | 岐阜市 他         |
| ・東海中学校総合体育大会                 | 8月5日～11日      | 愛知県 他         |
| ・全国中学校体育大会                   | 8月17日～25日     | 東海ブロック        |
| ・国民体育大会東海ブロック大会              | 8月17日～18日他    | 三重県           |
| ・国民体育大会本大会                   | 9月28日～10月8日   | 東京都           |
| ・国民体育大会冬季大会（スケート・アイスホッケー競技会） | 26年1月28日～2月1日 | 栃木県           |
| ・国民体育大会冬季大会（スキー競技会）          | 26年2月21日～24日  | 山形県           |

## 第3章 財団法人岐阜県イベント・スポーツ振興事業団

### 1 事業の概要

施設管理者として培ってきた経験を最大限に活用し、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」メイン会場の施設管理に万全な態勢で臨んだほか、大会運営や選手のサポートなど、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の成功に貢献した。

また、平成25年度から始まる「指定管理者制度」に向けて、施設の問題点を把握・改善し「指定管理者」に対して引継を実施したほか、事業団の解散手続きを適切に実施した。

### 2 事業の実績

(1) イベント振興事業

岐阜メモリアルセンターを利用して県民に親しまれるスポーツイベントを誘致・開催し、県民へのスポーツの普及振興に努めた。

## スポーツイベント開催事業

### (ア) 障がい者スポーツフェスティバルの開催

(財)岐阜県身体障害者福祉協会及び岐阜県障害者スポーツ協会と共催で、中学生以上の障がい者を対象に、「障がい者スポーツフェスティバル」を開催し、障がい者に対する県民の理解を深め、「ぎふ清流大会」の開催気運を高めた。

開催日：平成24年7月14日(土)

会場：長良川競技場、補助競技場、長良川スイミングプラザ、で愛ドーム、体育室

内容：・障がい者スポーツ教室の開催(陸上、フライングディスク、水泳、卓球、車椅子バスケットボール)  
・ぎふ清流大会強化練習会

参加人数：119人

### (イ) 「F C 岐阜サッカー教室」の開催

県内初のプロチーム「F C 岐阜」の協力により、地域社会へのスポーツ文化の浸透、活性化を推進することを目的として県内の小学生高学年を対象にサッカー教室を開催した。

開催日：平成25年1月19日(土)

会場：で愛ドーム

内容：「F C 岐阜」の監督及び選手によるハイレベルなプレー・技術指導を体感できるサッカー教室の開催

参加人数：125人

### (ウ) 「バレーボール教室」の開催

岐阜県バレーボール協会の協力により、スポーツ振興を目的として県内の中学生を対象にバレーボール教室を開催した。

開催日：平成25年2月24日(日)

会場：で愛ドーム、ふれ愛ドーム

内容：元日本選手の松田明彦さん、江藤直美さん、元Vリーグ選手の田中飛鳥さんの指導によるバレーボール教室の開催

参加者数：150人

## イベント誘致事業

全国大会等の継続開催に向けた働きかけを行うなど、国際的、全国的、全県的なスポーツイベントの誘致を積極的に行った。

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| ・ F C 岐阜 J 2 リーグ公式戦 ( 4 月 ~ 3 月 ) | 21 試合              |
| ・ カンガルーカップ国際女子オープンテニス2012         | 4月29日(日) ~ 5月6日(日) |
| ・ J A B A ベーブルース杯争奪全国社会人野球大会      | 4月28日(土) ~ 5月1日(火) |
| ・ プロ野球公式戦 ( 中日 VS ヤクルト )          | 5月9日(水)            |
| ・ 第2回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン             | 5月20日(日)           |
| ・ プロ野球公式戦 ( 巨人 VS 広島 )            | 7月11日(水)           |
| ・ キッズサマーキャンプ2012                  | 7月31日(火) ~ 8月3日(金) |
| ・ 全国高校選抜女子バスケットボール強化大会            | 1月4日(金) ~ 1月6日(日)  |
| ・ プロ野球オープン戦 ( 中日 VS 西武 )          | 3月9日(土)            |
| ・ バレーボール V ・ プレミアムリーグ女子岐阜大会       | 3月17日(日)           |

## 地域交流事業

(ア) 地域ふれあいフェスティバル

地域住民の交流の場として、岐阜メモリアルセンター周辺校区の長良西自治会連合会に施設を開放した。

<長良西スポーツ・レクリエーション祭>

開催期間：平成24年11月24日(土)

会 場：で愛ドーム

参加者数：220人

(イ) 施設無料開放事業

長良川河畔で開催される2大花火大会当日に、岐阜メモリアルセンターの施設を一部開放することにより県民の憩いの場として当施設を多くの方々にPRした。

解放施設：長良川球場、芝生広場、サンサンデッキ

(2) 生涯スポーツ普及振興事業

「県民1スポーツ運動」と「日本一・世界一づくり運動」からなる「スポーツ『新1・1運動』21」を推進するため、事業団が有する機能・ノウハウを発揮して生涯スポーツの普及振興を図った。

スポーツ教室の開催

県民が自発的にスポーツができる機会を提供するため、年間を通じてスポーツ教室を開催した。

実施内容：太極拳、ウォーキング、ヨガ、テニスほか、5種目 33コース

参加人数：496人

地域武道振興事業

本県の武道の普及と振興のため、県内の指導者・青少年を対象に、正しい理論と技術の習得、ならびに指導力・競技力の向上を目指し、指導者研修会・青少年錬成大会を(財)日本武道館等との共催事業として実施した。

(ア)「岐阜県地域社会弓道指導者研修会」

武道名：弓道

開催日：平成24年11月24日(土)～25日(日)

場 所：長良川弓道場

参加者：42人

(イ)「岐阜県地方青少年なぎなた錬成大会」

武道名：なぎなた

開催日：平成24年12月15日(土)～16日(日)

場 所：剣道場

参加者：72人

トレーニング室の運営

トレーニング機器を整備して県民の健康志向とスポーツ選手の体力アップ等に対応した。また、トレーニング室を初めて利用する人に対して、トレーニング機器を利用した有酸素運動やウエイトトレーニング方法の指導を行った。

利用者 延べ13,192人(昨年同期：19,399人)

(3) 競技力向上推進事業

「スポーツ王国・ぎふ」を目指す本県の競技力向上の中核施設である岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター(SSTC)を拠点として、スポーツ科学に基づいた指導者研修や選手の競技力測定・トレーニング指導を行い、日本のトップクラス更には国際レベルで活躍できる選手の育成を目指し、以下の事業を展開した。

### 指導者養成事業

県内各競技種目の指導者を対象に効果的な研修を実施し、日本一のチームや選手を育てるために不可欠な指導理論や指導方法等を習得した資質の高い指導者の養成を行った。

・岐阜県認定スポーツ指導者養成講習会 ・「スポーツ王国づくり」研修会

### 優秀指導者配置事業

国際的・全国的レベルの競技力を持つ選手やチームを育てた経験を持つ人材を指導者として配置した。

優秀指導者委嘱者：後藤 寿彦（野球）  
山崎 一彦（陸上競技）  
山田 青子（バドミントン）  
増淵 まり子（ソフトボール）  
小林 史和（陸上競技）

### 日本一づくり特別強化事業

多くの県民から期待され「スポーツ王国・ぎふ」を全国にPRできる競技種目に特化し、専門的な指導や科学的トレーニングにより重点的な強化事業を行った。

- ・野球強化プロジェクト会議  
平成24年5月30日(水)、平成25年2月5日(火)
- ・駅伝強化プロジェクト会議  
平成24年6月20日(水)、平成25年2月6日(水)
- ・中学生軟式野球強化合宿  
平成24年8月2日(木)、3日(金)
- ・リトルシニア野球強化練習会  
平成24年11月18日(日)
- ・中学生軟式野球強化練習会  
平成24年11月25日(日)
- ・駅伝事前合宿(女子)  
平成24年12月27日(木)～29日(土)

### 高地トレーニング実践強化事業

「飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア」において高地トレーニングを実施し、選手の競技力向上を図るとともに、高地トレーニングにおける医科学的データを収集した。

- ・スケート連盟選抜選手(16名)  
平成24年7月25日(水)～28日(土) 4日間
- ・クロスカントリースキー連盟選抜選手(14名)  
平成24年7月30日(月)～8月3日(金) 5日間
- ・陸上競技(中・長距離)協会選抜選手(40名)  
平成24年8月13日(月)～16日(木)、平成24年9月7日(金)～9日(日)  
平成24年9月28日(金)～30日(日) 10日間
- ・レスリング協会選抜選手(16名)  
平成24年9月14日(金)～17日(月) 4日間

### トップアスリート科学サポート事業

国際・全国大会で活躍を目指す県内の競技選手・チームの競技力向上に貢献するため、フィットネスチェックなど6つの専門分野でサポートを実施した。

また、県内のジュニア選手、保護者、ジュニア指導者を対象に、発育・発達期に必要なスポーツ科学とスポーツ医学に関する研修会を開催し、健全な選手育成を図った。

トータルサポート	実施項目	フィットネスチェック	スキルチェック
		メンタルサポート	フィジカルトレーニング
		スポーツ・ボディケア	スポーツ栄養

実施人数 延べ5,272人

ジュニアサポート 実施項目 スポーツ科学コース スポーツ医学コース

実施人数 延べ783人

実施日数 11日

#### スポーツ専門指導員等招聘事業

国体開催種目（19種目）の競技について、競技力向上を図るための専門知識、技術及び指導力を有する指導者を招聘し、県内選手を集中的に指導した。

全国トップレベルの指導を受けることにより、本県の選手及び指導者の強化及び技能の向上が図られ、「ぎふ清流国体」の総合優勝に大きく貢献した。

#### (4) 県有施設の管理運営事業

##### 岐阜メモリアルセンター

岐阜メモリアルセンターは「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」のメイン会場であったことから、国体を観戦に訪れた方に気持ちよく過ごしていただくため、基本財産を一部取崩し施設壁面の塗装工事などの緊急美化工事を実施したほか、国体仮設物の設置により傷んだ芝生を復旧するため、芝生広場やサンサンデッキ上の芝生の復旧工事を実施した。

また、最小の経費で最大の効果を上げる施設運営や利用者サービスの向上を図るため、前年度に引き続き、施設の老朽に伴う計画的な修繕や改修工事を実施して施設の維持管理に努めた。

##### スポーツ科学トレーニングセンター

岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター（SSTC）は、今年度開催された「ぎふ清流国体」の総合優勝を目指し、高度な測定機器とコンピュータによるネットワークシステムを駆使し、フィットネスチェック（体力測定）スキルチェック（動作分析）などを実施し、その結果を基に科学的なトレーニング指導を行った。

また、測定機器やネットワークシステムの適正な維持管理を行い、高い信頼性を維持して円滑な測定業務の実施に努めた。

##### 岐阜県長良川球技場（特定者指名）

岐阜県長良川球技場は、平成18年4月から事業団が指定管理者として施設の管理運営を行っており、国際的、全国的、全県的なスポーツ大会やイベント、プロスポーツ等が開催できるような状態に保つため、芝生保護のための休業期間の設定や使用頻度の制限を行うなど、芝生の適切な手入れを行い利用者サービスの向上を図った。

#### (5) 駐車場事業

県から借り受けた土地（旧岐阜市立女子短期大学跡地）において有料の臨時駐車場を開設して、「世界イベント村」各施設で行われている大規模イベントに際して、自家用車、団体バス利用者の便宜を図った。

平成24年度実績

開設日数：161日 利用台数：普通車49,648台、バス373台

また、常設駐車場とするために県が実施した駐車場ゲート等の設備工事や駐車ライン等の舗装工事に合せて、駐車場管理に必要な監視カメラの設置工事を実施した。

(6) その他の事業

「ぎふスポーツフェア2012」の運営

当事業団が実行委員会の事務局を所管している事業の適正な業務運営に努めた。

主 催：ぎふスポーツフェア2012実行委員会

期 間：平成24年4月14日（土）～5月20日（日）

内 容：各種スポーツの競技会や体験イベントを開催

- ・カンガルーカップ国際女子オープンテニス2012
- ・F C岐阜 J 2 リーグ公式戦（4 試合）
- ・プロ野球セ・リーグ公式戦（中日VSヤクルト）
- ・プロ野球セ・リーグ公式戦（巨人VS広島）
- ・第65回 J A B A ベーブルース杯争奪全国社会人野球大会
- ・第2 回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン
- ・第56回中部実業団対抗陸上競技大会
- ・第43回岐阜県空手道選手権大会
- ・第13回日韓友好親善サッカー交流会 in 岐阜
- ・東日本復興支援招待試合「2012岐阜県ラグビー祭」等 計56イベント

来場者数：169,157人

「第2 回 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の支援

実行委員会の構成員となり、「第2 回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」の支援を行った。

主 催：高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、岐阜陸上競技協会

構 成 員：岐阜陸上競技協会、岐阜県、岐阜市、中日新聞社、当事業団

開 催 日：平成24年5月20日（日）

事業内容：岐阜メモリアルセンターをスタート及びゴールとして開催された、10,000人が参加したハーフマラソン大会

支援内容：主会場となる岐阜メモリアルセンターの会場設営及び会場運営